

単元の目標

- (1) 財政及び租税の意義、国民の納税の義務、社会資本の整備、環境の保全、社会保障、消費者の保護について理解することができる。
- (2) 財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したり、思考・判断したことを適切に表現することができる。
- (3) 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 政府の仕事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ イラストを見て、政府が行っている仕事を見つける。 ★ 漫画を通して、政府の役割や意義について話し合い、学習の見通しを立てよう。 ○ 漫画を読んで、疑問に思ったことや知らないことについて話し合う。 ○ 単元の学習問題をつかむ。 ● 私たちの生活を豊かにするために、国や地方公共団体はどのような役割を果たすべきだろう。 <p>2 財政の働きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 経済における政府の役割は何だろうか。 ○ 財政の役割について調べる。 ○ 政府が経済活動を行うことの重要性について考える。 ○ 財政政策について調べる。 <p>3 財政の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 財政の内容や役割はどのように変化しているのだろうか。 ○ 財政の収入と支出の変化をグラフから読み取る。 ○ 社会の変化によって、社会資本はどのように整えられていくのか調べる。 ○ 環境保全に対する政府の役割を調べる。 <p>4 政府の活動を支える税と国債について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 税金はどのような考えで集められるのだろうか。また、国債はなぜ発行されるのだろうか。 ○ 税にはどのようなものがあるかについて話し合う。 ○ 公正な税の在り方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 170～171 ・ 政府が家計や企業を支える役割を担っていることを理解させる。 ・ イラストから身近な公共事業を想起させ、学習の見通しをもたせる。 ・ 税金や社会保障制度についての疑問を解決するための課題をまとめさせる。 【評】 これからの学習について見通しをもち、興味をもって学習に取り組もうとする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 教 P. 172～173 ・ 財政の役割について、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正） ・ 資源配分の調整、所得の再分配、経済の安定化の三つの役割があることを捉えさせ、それらによって公正な社会の実現や社会の安定につながっていることに気付かせる。 ・ 「公民+α」に取り組ませることで、「大きな政府」「小さな政府」の役割を理解させ、目的によって政府の対応に変化があることに気付かせる。 ・ 資料5を活用し、景気の良し悪しを比べてどのような対応の変化が起きるのかについて読み取らせる。 【評】 政府が果たしている三つの経済的役割について身近にあるものを中心に調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 教 P. 174～175 ・ 日本の財政の変化を、希少性に着目して理解させる。（希少性） ・ 資料1を活用し、2022年に社会保障関係の歳出が増えていることに着目させ、その原因について話し合わせる。 【評】 歳入と歳出の統計や、歳出と税収の推移のグラフから日本の財政の変化を比較し、説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 教 P. 176～177 ・ 税金の仕組みや国債発行の影響について、効率と公正に着目して追究させる。（効率と公正） ・ 身近な消費税以外にも、税にはさまざまな種類があることに気付かせる。 ・ 「アクティビティ」に取り組ませることで、累進課税と逆進性について、資料を基

<p>○ 国債発行の課題について調べる。</p> <p>○ 歳入の特徴と課題についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歳入には直接税と間接税、国税と地方税といった種類がある。また、税の仕組みには税はそれぞれの支払い能力に応じて負担するのが公正だとする累進課税と、個人の能力に関係なく同じ税率を負担するのが公正だとする逆進性がある。 ・ 国債は、財政だけで必要な財政支出をまかなえない時に資金を調達することができるが、借金が膨らんでしまい、未来の世代に大きな負担をかけることになってしまう。 <p>5 社会保障の仕組みについて調べる。</p> <p>★ 人間らしい生活を保つために、どのような仕組みがあり、何によって支えられているのだろう。</p> <p>○ なぜ社会保障が必要なのかについて調べる。</p> <p>○ 社会保障制度の内容について調べる。</p> <p>○ 社会保障が政府によって運営されている理由について考える。</p> <p>6 少子高齢社会における福祉の充実と財源について調べる。</p> <p>★ 少子高齢社会において、社会保障制度を維持・改善させるためには、何が必要なのだろう。</p> <p>○ 少子高齢社会における社会保障の現状について調べる。</p> <p>○ 持続可能な社会保障に向けて必要なことを調べる。</p> <p>○ 社会保障制度を改善するためにできることについて話し合う。</p> <p>7 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>★ 単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。</p> <p>○ 語句の意味を確認する。</p> <p>○ 単元の学習問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>○ グループで意見交換をする。</p>	<p>に公正の観点から判断させ、その理由を述べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国債残高の累積は、返済に伴う政策自由度の減少や、将来世代への負担を増やすことによる世代間の不公正の拡大という問題でもあることを捉えさせる。 ・ 税の種類や納め方の仕組み、公正な税負担の考え方、国債発行の意義や問題点についてまとめさせる。 <p>【評】 歳入の特徴と課題についてまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 178～179 ・ 社会保障の仕組みを公正に着目して、社会保障の財源について希少性に着目して、それぞれ追究させる。（公正、希少性） ・ 社会保障制度がすべての人のためにあることや、互いに助け合う意義、国の責任で社会保障が行われている意義について、生存権の学習と関連付けて捉えさせる。 ・ 社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つの柱があることに加え、社会保険は保険料から、残りの制度は税金から費用を捻出していることを捉えさせる。 ・ 「公民+α」に取り組ませることですべての人に公正な社会保障を受ける権利がある一方で、自分に合った支援を探さなければならないことを捉えさせる。 <p>【評】 社会保障について、その内容や目的を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 180～181 ・ 社会保障制度の充実のために必要なことを対立と合意、効率と公正に着目して追究させる。（対立と合意、効率と公正） ・ 少子高齢化により、年金、医療、福祉といった高齢者向けの支出が多くなっていることや今後現役世代に求められる負担が増していくことなどを調べさせる。 ・ 負担と給付のバランスをさまざまな立場の人が議論し、制度を考えていく必要があることを捉えさせる。 ・ 短期的視点と長期的視点からアイデアを出させる。 <p>【評】 日本の社会保障制度について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 186～187 ・ 既習事項の知識について確認させ、整理させる。 ・ マトリックス（表）を活用して考えを整理させる。 ・ 級友の意見を参考に、自分の考えを見直す
--	--

<p>○学習を振り返る。</p>	<p>ことで、考えを再構築させる。 【評】単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
------------------	--

【 備 考 】